

第4回 加越沿岸海岸保全基本計画検討委員会

会 議 概 要

1. 日 時：令和7年5月1日（木） 10:00～11:30
2. 場 所：石川県庁11階 1105会議室（WEB会議併用）
3. 出席者：由比委員長、有田委員、中村委員、馬場先委員、嶋崎委員（笹原委員代理）、五十川委員、渡邊委員、柴田委員、端根委員（成瀬委員代理）、福井委員（吉田委員代理）、越井委員（本田委員代理）、網谷委員（宮元委員代理）、桶川委員（宮橋委員代理）、川端委員（井出委員代理）、窪田委員（田村委員代理）、土田委員（村山委員代理）、中田委員（油野委員代理）、長浦委員（岸委員代理）、中佐委員（生田委員代理）、杉谷委員（寶達委員代理）、奥田委員（稲岡委員代理）
4. 会議次第
 - (1) 開 会
 - ・ 事務局の司会進行により開会された。
 - (2) 挨 拶
 - ・ 石川県土木部次長の越井委員から挨拶が行われた。
 - (3) 議 事
 - 1) 議事公開の確認
 - ・ 委員長より議事公開の確認が行われ、委員の了承を得た。
 - 2) 第4回 加越沿岸海岸保全基本計画検討委員会 資料説明
 - ・ 事務局より委員会資料に関する説明が行われた。
 - （質 疑）
 - ・ 各委員からの主な質疑・意見内容については、次頁以降に示す。
 - （議事概要及び資料公開の可否について）
 - ・ 委員長から議事概要の公開について確認が行われ、委員の承認を得た。
 - (4) 閉 会
 - ・ 事務局の進行により閉会された。

1) 事務局より、「資料3：第4回 加越沿岸海岸保全基本計画検討委員会資料」の説明が行われた。

2) 各委員からの主な質疑・意見

①第1章：過去の検討委員会の内容

- ・ 波浪について、将来外力の値に幅があるがどれを採用しているのか。
→（事務局）最低限防護すべき値との考えで、下限値を採用している。
→その場合、高い値はどう扱うのか。2つある場合採用する数値の判断により結果が異なることから、統一した方が良いのではないか。
→（事務局）幅を持たせてはいるが、予測に不確実性があることから、上振れのケースは今後計画素案を策定するうえで考慮するかを検討する。
- ・ 潮位の将来外力については、数センチ程度の幅ではあるが、波浪と同様の考え方で設定しているのか。
→（事務局）下限値を採用している。
→潮位偏差も同様。
→（事務局）下限値を採用している。

②第2章：気候変動を踏まえた将来外力の設定

- ・ 今回提示されている津波シミュレーションはどのような海象状態を設定しているのか。
現在対策を実施中の片山津海岸において、対策後の施設高でのシミュレーションはできるのか。
→（事務局）一般的な設定に基づき、潮位は朔望平均満潮位を設定している。対策後の新たな施設の断面を考慮したシミュレーションは可能である。
- ・ 橋立漁港と片山津海岸は現況の波のうちあげ高が施設高よりも高いという結果で、対策実施中だと思うが、これを実施すれば将来外力にも対応できるということか、それとも完了後に検討するということか。（委員長）
→（事務局）対策は現行の外力への対策で、将来外力への対策は計画策定後に検討する。

③第3章：整備方針の検討

- ・ P. 27 を見ると、潮位偏差・波浪の上昇はあまり考慮されていないように見えるが、どのような扱いとしているのか。(委員長)
 - (事務局) P. 24 の内容も踏まえ、定期的な外力をチェックする中で波浪についても検討する。
 - (委員長) 見せ方の問題かもしれないが、順応的な適応策のグラフの表現を工夫し(斜めの青破線と灰色破線の間を考慮する)、潮位偏差と波浪も考慮しているとわかるようにしてはどうか。
 - (事務局) 了解した。
- ・ 気候変動を踏まえた海岸保全施設の整備方針について、現況の施設高で足りている施設についても更新時には事前適応策または順応的適応策について検討するということか。
 - (事務局) その認識でよい。順応的適応策は港湾・漁港の状況を踏まえたものとしてマニュアルに示されている。

④第4章：気候変動を踏まえた海岸保全基本計画（変更案）

- ・ 特になし。

⑤第5章：まとめ

- ・ 気候変動を踏まえた変更の概要（P. 31）について、砂浜の保全については、モニタリングを行いながら順応的な対応を行う等の内容も計画の中へ入れてもらえると良い。
- ・ まとめの1つ目に（対策実施中の海岸を除く）と注釈を入れた方が良い。(委員長)
- ・ 気候変動を踏まえた変更の概要（P. 31）について、環境分野の各項目の具体的な内容の議論が必要となる。細かな項目・内容を示した方が良い。
 - (事務局) 環境の部分は次回の委員会で示すので、審議いただきたい。
- ・ P. 5 について対策実施中のものもあるので、そこをわかりやすくまとめでも触れておくべき。
- ・ 県民にこの計画を策定しているということを啓発するような内容を基本計画の中に取り入れてはどうか。
 - (事務局) 取り入れることを検討する。

⑥第6章：今後のスケジュール

- ・ 特になし。

⑦その他

- ・ P.20について、難しいと思うが津波と波浪の複合的（同時生起的）なケースも想定していく必要があると考える。
- ・ 計算で河川遡上の検討をしていたら教えていただきたい。（委員長）
 - （事務局）今回は河川遡上を計算していない。
 - （委員長）せっかくなので、河川遡上も検討してはどうか。

以 上